

平成29年度

小樽市が行う**主な取り組み** についてお知らせします

平成29年度が始まって、約1カ月が過ぎました。市では、今年度もさまざまな事業に取り組みます。そこで、今回は今年度予算の中から、新たな事業のほか、これまでの規模を拡大する事業などについてお知らせします。

日本遺産の認定へ向けて

日本遺産認定関係経費 (80万円)

(産業港湾部日本遺産等担当)

日本遺産認定を目指し、シンポジウムの開催や道内外における先進地視察などを実施します。



まちの歴史と文化に関する基本方針

歴史文化基本構想策定事業費 (300万円)

(教育部生涯学習課)

まちづくりと文化財保存の両立を図るために、本市の文化財および周辺環境を保存・活用する基本方針となる「小樽市歴史文化基本構想」を策定します。



本市において長期にわたり続く人口減少は、税収の減少や経済規模の縮小など、地域に大きな影響を及ぼすことから、人口対策は本市における最重要課題となっています。

今年度は、財政再建に向けた取り組みを継続していくとともに、住みよいまち、人にやさしいまちを実現するため、総合計画を基本として、人口減少に歯止めをかける視点で本市の持続的な発展を図るための施策をとりまとめた「小樽市総合戦略」の推進のため、「子育て支援」や「子どもの育成」「安定した雇用の創出」のほか、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりを重視した予算編成を行いました。

また、今回紹介する事業のほかにも、新・市民プールや手宮保育所の整備に向けた調査、キャリア教育の推進、小樽産農産物のPR、後期高齢者の無料歯科検診などを新たに実施します。

このほか、本年2月に株式会社ニトリから、小樽市の観光活性化のために活用してほしいとして1億円の寄付を頂きました。具体的な使い道は指定されておりませんが、観光客の皆さまだけでなく市民の皆さまにも喜んでいただけるような活用方法を検討してまいります。

今年度も、予算執行や多くの取り組みを通じ、本市の持つ魅力や強みを活かしたまちづくりを進めていきます。

発行日/平成29年5月1日

発行・編集/小樽市総務部広報聴課

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号

☎0134@4111内線223・224、FAX0134@4331

E-mail: koho@city.otaru.lg.jp

ホームページ: <http://www.city.otaru.lg.jp>

小樽市

携帯電話やスマートフォンからもご覧になれます。

※ご意見・ご感想をお待ちしています。



(QRコード)

小樽の未来を作りましょう

総合計画策定関係経費 (280万円)

(総務部企画政策室)

平成31年度から始まる次期総合計画の策定についての取り組みを実施。今年度は、市民100人規模のワークショップや策定審議会の開催のほか、基本構想(原案)の作成を予定しています。



第3号ふ頭でも大型客船寄港を

第3号ふ頭泊地改良事業費 (8550万円)

(産業港湾部港湾室)

岸壁の老朽化対策と合わせ、泊地のしゅんせつを行い、大型クルーズ船なども接岸可能な施設整備を実施します。



市民の憩いの場 小樽公園を整備

小樽公園再整備事業費(1890万円)

(建設部公園緑地課)

明治26年に開園した小樽公園の再整備を行います。今年度は、見晴台周辺の園路整備を行います。



車椅子用リフト付き自動車を新しく

福祉車両購入経費 (430万円)

(福祉部障害福祉課)

重度身体障害者の方で、日常生活において車椅子を使用している方の送迎サービスのために使用している車椅子用リフト付き自動車を更新します。



国際交流の活動を促進

姉妹都市提携委員会交付金 (430万円)

(総務部秘書課国際交流担当)

姉妹都市であるロシア・ナホトカ市および韓国ソウル特別市江西(カンソ)区への市代表団・少年少女交流団の派遣や、ダニーデン市青少年交流団歓迎事業などを実施します。



市内の雇用創出に向けて

IT関連企業等誘致促進補助金 (2000万円)

(産業港湾部企業誘致担当)

市内中心部での雇用創出のため、市外からのIT関連企業等の進出を対象に、施設改修費用やランニングコストの一部を補助します。



皆が利用しやすいトイレへ

トイレの洋式化等整備事業費 (2159万円)

(生活環境部管理課ほか)

多くの市民や観光客の方に利用される市の施設について、和式トイレの洋式化等の整備を計画的に実施します(今年度は、小樽公園(ゆったりトイレ、テニスコート上)、市役所本館、保健所等を予定)。



災害時の情報を届けるために

防災関係経費(防災行政無線(同報系)整備事業) (1200万円)

(総務部災害対策室)

災害時(津波・高潮)の避難情報伝達向上を図ることを目的とした防災行政無線を整備するための調査を行い、基本計画を策定します。



歴史ある建物の活用に向けて

建築ストック・リノベーションまちづくり事業費 (4127万円)

(建設部公園緑地課)

歴史的建造物等の建築資産を有効活用し、移住者や観光客等の交流を推進するための拠点を整備します(旧寿原邸屋根改修、空き家の所有者・利用者向けの相談会や空き家活用講座を開催など)。



既存の市営住宅を整備

公営住宅建替事業費 (4億6400万円)

(建設部建築住宅課)

老朽化が進む若竹住宅3号棟の建て替えを実施します(平成28~29年度に解体工事、29~30年度に建て替え工事を予定)。



子育てしやすいまちづくり

こども医療費助成 (1億8935万円)

(医療保険部後期高齢・福祉医療課)

北海道の制度によりこどもの医療費の自己負担分の一部を助成するほか、市の単独事業として小学生の入院外(外来、調剤など)を助成対象としています。



プロ選手の迫力を実感

スポーツ選手交流事業費 (50万円)

(教育部生涯スポーツ課)

市内小学校でプロスポーツ選手による出前授業を開催します。



歴史ある文化財を保全

重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事 (1740万円)

(教育部生涯学習課)

小樽市を代表する文化遺産である「旧日本郵船(株)小樽支店」を保存・活用するための修理に関する実施設計を行う予定です。



民間の空き住宅を市営住宅に

既存借上公営住宅事業費 (480万円)

(建設部建築住宅課)

既存の民間共同住宅の空き住戸を市が借り上げ、低所得の子育て世帯向けに市営住宅として供給します。



子どもの読書をもっと身近に

子ども読書活動推進事業費 (168万円)

(市立小樽図書館)

専門知識を有する職員を配置し、図書館が中心的な立場となって家庭、地域、学校、幼稚園や保育所などで読書活動を推進します(「子ども読書活動推進計画」の策定、保護者やボランティアとの連携による読書活動推進、学校図書館支援など)。



教室の机や椅子を更新

児童(生徒)用机・椅子更新事業費 (365万円)

(教育部施設管理課)

市内の小・中学校の教室で使用している傷みの激しい机や椅子を計画的に更新します(平成29~31年度を予定)。

